

作成日 2009年10月1日

改訂日 2016年6月1日

安全データシート（混合物用）

1. 製品および会社情報

製品名	スーパーエフロクリーン		
会社名	ヤブ原産業株式会社		
住所	〒334-0054 埼玉県川口市安行北谷 546		
担当部署	販売営業部		
作成者	技術部		
電話番号	048-297-4111	FAX番号	048-290-1198
緊急連絡先	048-297-4111		
推奨用途及び使用上の制限	白化の除去		
整理番号	152000		

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	金属腐食性物質	区分1
健康に対する有害性	急性毒性 : 粉塵、ミスト	区分4
	皮膚腐食性/刺激性	区分1
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分1
	呼吸器感作性	区分1
	特定標的臓器/全身毒性（単回ばく露）	区分2（呼吸器系）
	特定標的臓器/全身毒性（反復ばく露）	区分2（歯、呼吸器系、腎臓）
	吸引力呼吸器有害性	区分外
環境に対する有害性	水生環境有害性（急性）	区分2
	水生環境有害性（慢性）	区分外

* 上記で記載がない危険有害性は、区分外、分類対象外か分類できない。

ラベル要素

絵表示またはシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

金属腐食のおそれ
吸入すると有害
重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれ
臓器の障害（呼吸器系）のおそれ
長期または反復曝露による臓器の障害（歯、呼吸器系、腎臓）
水生生物に毒性

注意書き

【安全対策】

他の容器に移し替えないこと。
保護手袋、保護眼鏡、保護面、保護衣を着用すること。
ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
環境への放出を避けること。

【応急措置】

皮膚（又は髪）に付着した場合、ただちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに、医師に連絡すること。

飲み込んだ場合、口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。気分が悪い時は、医師の診断／手当てを受けること。

吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること。

暴露または暴露の懸念がある場合、医師の診断／手当てを受けること。

物質被害を防止するため流出したものを回収すること。

【保管】

耐腐食性／耐腐食性内張りのある容器に保管すること。

施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託する。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分 : 混合物

物質の特定 成分および含有量

物質名	CAS No.	含有量 (%)	備考
塩酸	7647-01-0	9.8	
しゅう酸	6153-56-6	1.0	
スルファミン酸	5329-14-6	2.0	

※) 代表値であり、規格値ではありません。

4. 応急措置

吸入した場合 : 蒸気、ガス等を吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師に連絡すること。呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合 : 付着物を布にて素早く拭き取る。直ちに、全ての汚染された衣類をとりのぞくこと。大量の水および石鹼または皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。

眼に入った場合 : 直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。まぶたの裏まで完全に洗うこと。直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合 : 誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。嘔吐物は飲み込ませないこと。医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

5. 火災時の措置

- 消化剤 : 全ての消化剤
- 特有の危険有害性 : 火災によって塩素ガスを発生するおそれがある。
- 特有の消化方法 : 周辺火災に対応して、消火活動を行うこと。
危険でなければ火災区域から容器を移動する。
- 消化を行う者の保護 : 適切な保護具（耐熱性着衣など）を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、
保護具および緊急時措置 : 作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。
周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。
衝撃、過熱を避けること。
- 環境に対する注意事項
封じ込めおよび浄化の
方法・機材 : 河川への排出等により、環境への影響を起こさないように注意する。
漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
付着物、廃棄物等は、関係法規にもとづいて処置すること。
乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収させて回収する。大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- 技術的対策 : 換気の良い場所で取り扱う。
容器はその都度密栓する。
衝撃、過熱を避けること。
密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を着けて作業すること。
皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり、目に入らないよう保護具を着用する。
取り扱い後は手・顔等をよく洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。
過去に、アレルギー症状を経験している人は取り扱わない。
- 注意事項 : 漏洩すると、金属、セメント系材料を腐食させる危険性がある。

保管

- 技術的対策および
保管条件 : 日光の直射を避ける。
通風のよいところに保管する。
冷暗所、乾燥した場所に保管する。
盗難防止のために施錠保管する。
- 注意事項 : 転倒、転落しないように注意する。
他の薬品と同じ場所に置かない。特にアルカリ類、金属などを避ける。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度、許容濃度

成分名	管理濃度	許容濃度 ACGIH (TLV)
塩酸	設定されていない	2 ppm (TLV-C)
しゅう酸	設定されていない	1 mg/m ³ (TWA) 2 mg/m ³ (STEL)

- 設備対策 : 装置は耐腐食性のある材質を用いて作ること。
腐食性物質に、作業者が直接接触したり、暴露したりしないような配慮をすること。

保護具

- 呼吸器用の保護具 : 作業を行う場合には、適切な保護マスクを着用すること。
密閉された場所では送気マスクを着用する。
- 手の保護具 : 有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。
- 目の保護具 : 取り扱いには保護メガネを着用すること。
- 皮膚及び身体の保護具 : 取り扱う場合には、皮膚を直接曝させないような衣類を着けること。また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

9. 物理的および化学的性質

- 状態 : 液体
- 色 : 淡黄色透明
- 臭い : ややあり
- 沸点 : 90℃
- 引火点 : 引火しない
- 比重(密度) : 1.09
- 水に対する溶解性 : あり
- n-オクタノール/水分配係数 : データなし
- 自然発火温度 : 発火しない
- 分解温度 : データなし

10. 安定性および反応性

- 安定性 : 腐食性、不燃性の液体である。
酸化剤と激しく反応し、塩素ガス生成する。アルカリと反応して発熱し、腐食性を示す。
多くの金属を侵し、水素を生成する。
- 避けるべき条件 : 情報なし。
- 混触危険物質 : 酸化剤、アルカリ、アミン、金属。

11. 有害性情報

- 急性毒性 経口 : 塩酸 (LD₅₀ ラット : 238mg/kg、区分3)
- 経皮 : スルファミン酸 (LD₅₀ マウス : 2012mg/kg、区分5)
- 吸入(ガス) : 塩酸 (LC₅₀ ラット : 1411ppm、区分3)
- 皮膚腐食性・刺激性 : 塩酸 (区分1A-1C)
- 眼に対する重篤な損傷・刺激性 : 塩酸 (区分1)
- 呼吸器感作性または皮膚感作性 : 塩酸 (区分1 呼吸器))
- 生殖細胞変異原性 : 区分外または分類できない
- 発がん性 : 区分外または分類できない
- 生殖毒性 : 区分外または分類できない
- 特定標的臓器・全身毒性-単回暴露 : 塩酸 (区分1 呼吸器系)
しゅう酸 (区分1 中枢神経系、腎臓)
- 特定標的臓器・全身毒性-反復暴露 : 塩酸 (区分1 歯、呼吸器系)
- 吸引性呼吸器有毒性 : 区分外または分類できない

12. 環境影響情報

- 生態毒性 : 情報なし
- 残留性・分解性 : 情報なし
- 生態蓄積性 : 情報なし
- 土壌中の移動性 : 情報なし
- 水生環境有害性(急性) : 塩酸(区分1)
- (慢性) : 区分外または分類できない
- ・漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。
 - ・特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 廃液、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約（マニフェスト）をして処理をする。
容器、機器等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
排水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理および清掃に関する法律および関係する法規にしたがって処理を行うか、委託をすること。
特別管理産業廃棄物に該当するので、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。

汚染容器および包装 : 空容器は内容物を完全に除去してから処分する。
許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。

1 4. 輸送上の注意

共通

取り扱いおよび保管上の注意の項の記載に従うこと。
容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。

国内規定

国連番号：なし

指針番号：1 5 4

陸上輸送：消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。

海上輸送：船舶安全法に定めるところに従うこと。

航空輸送：航空法に定めるところに従うこと。

国際規制

国連番号：なし

国連輸送名：

国連分類：クラス 8（腐食性物質）

容器等級：容器等級ⅡあるいはⅢ

1 5. 適用法令

労働安全衛生法 : 塩化水素（表示・通知対象物質、特定化学物質第 3 類物質）
腐食性液体

船舶安全法 : 腐食性物質（危規則第 2、3 条危険物告示別表第 1）

航空法 : 腐食性物質（施行規則第 194 条危険物告示別表第 1）

1 6. その他の情報

参考文献

- ・ GHS 対応 SDS ・ ラベル作成ガイドブック〔混合物（塗料用）〕（日本塗料工業会）
- ・ SDS 用物質データベース（日本塗料工業会）
- ・ 国際化学物質安全カード（ICSC）
- ・ 原料 SDS

注意

本データシートは、作成または改訂時において、製品およびその組成に関する最新の情報（危険有害性情報・取扱い情報等）を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には追加・修正を行い改訂いたします。

また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。

本製品を当社が認めた材料以外のものとの混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行ってください。